

鹿児島地域水産物のPRのための各種イベント活動支援

鹿児島地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

コロナ禍により、当管内の農林水産物は需要減少や価格の低下といった影響を受けており、経営は厳しい状況にある。

そこで、当管内で生産される水産物の魅力を広く消費者にPRし、認知度向上を図るとともに、消費拡大を図ることを目的とした各種イベントについて支援等を行った。

【普及の内容・特徴】

1 里・山・海の幸めぐりバスツアー

農業及び林業分野と連携して「里・山・海の幸めぐりバスツアー」を企画し、当管内の農林水産物のPRを目的としたバスツアーを令和4年度に3回(令和4年12月26日、令和5年2月9日、3月8日)実施した。実施に当たっては観光旅行者へ業務委託した。

水産においては、令和5年2月9日に桜島のブリ・カンパチ養殖場の見学と餌やり体験・養殖カンパチ料理の試食を企画し、養殖業者に対して、円滑な受入に向け、当日の流れや船舶、救命胴衣の確保等について指導・調整を行った。

2 魚食普及のための水産物販売・提供イベント

西薩海域の直売所グループ(西薩おさかな海道ネットワーク)や、鹿児島地区漁業士会と共に、イベント参加にあたっての各種支援を行った。

(1) ふるさと観光交流物産フェスタ (令和4年10月21日～22日 アミュ広場)

西薩おさかな海道ネットワークが出店し、ツキヒガイやちりめん等の加工品を販売した。当局は出店に係る各所との調整やイベント当日における販売支援を行った。

(2) かごしま美味深海フェスティバル (令和5年1月28日 アミュ広場)

鹿児島地区漁業士会が出店し、深海魚であるキンメダイとタカエビを使った炊き込みご飯の無料提供や深海魚を紹介するパネルを展示して、深海魚の魅力を発信した。当局は前日の仕込み準備やイベント当日における販売支援を行った。

(3) 冬のうんまかマルシェ (令和5年2月11日～12日 イオンモール鹿児島)

西薩おさかな海道ネットワークが出店し、ツキヒガイやマダイ等の加工品を販売した。当局は出店に係る各所との調整やイベント当日における販売支援を行った。また、管内の農林水産物をモチーフにしたLEGOブロックの展示も行い、水産物はマダイのLEGOブロックが展示された。

【成果・活用】

1 里・山・海の幸めぐりバスツアー

参加者へのアンケート調査によると、養殖場見学や餌やり体験についてはほぼ全員が最高評価を付けた。また、養殖ブリ・カンパチについてツアー前後で比較すると、参加者のほぼ全員がツアー前より興味を持ち、積極的に購入したいとの回答が得られた。県民向けのバスツアーの実施は、魚類養殖に対するイメージアップの手段の一つとして有効であり、養殖魚の魅力を発信することができたものとする。

※今後もバスツアーを実施し、管内の農林水産物のPRに務めることとしている。

2 魚食普及のための水産物販売・提供イベント

(1) ふるさと観光交流物産フェスタ

2日間で約11万円の売上があった。直売所スタッフ等のアドバイスによって客が購入を決める状況がよく見られた。大型商業施設に隣接するスペースでの対面販売イベントで、水産物の魅力発信に資することができたと考えられる。

(2) かがしま美味深海フェスティバル

約70名へ炊き込みご飯の提供を行った。盛況だったため、30分未満で提供終了となった。鹿児島産の深海魚を普段あまり食べないという参加者も多数おり、深海魚の紹介パネルも併せて、鹿児島の深海魚の魅力発信に資することができたと考える。

(3) 冬のうんまかマルシェ

2日間で約5万円の売上があった。水産物の紹介や食べ方のアドバイスをを行いながら販売を行った。各種農林水産物をモチーフとしたLEGOブロックの展示も好評であり、水産物の魅力発信に資することができたと考える。

※今後もイベント出店の支援等を精力的に行い、管内水産物の魅力発信に取り組む。

1



令和5年2月9日 バスツアーの実施 (左：募集チラシ 右：体験の様子)

2-(1)



ふるさと観光交流物産フェスタ

(上：案内パンフレット

下：販売の様子)

2-(2)

かがしま美味深海フェスティバル

(上：案内パンフレット

下：深海魚紹介パネル)

2-(3)



冬のうんまかマルシェ

(上：案内パンフレット

中：販売した水産加工品

下：LEGO展示ブース)

